

市民が真ん中の街

「えべつ」を目指して

予算編成のポイント

平成 25 年度当初予算は、基本理念（左記参照）に基づく政策の推進や総合計画の施策・事業の推進に配慮しながら、人口減少時代に対応した新たな成長戦略として、子育て支援、環境、企業立地、安全安心といっ

た重点課題への対応を中心に事業の新設や拡大を行いつつ、継続事業についても緊急度や優先度などを見極め、さらには国の緊急経済対策に対応した予算編成を行いました。
〔詳細〕 財政課 ☎ 381-1010

* 基本理念

- 「元気で安心できる、人にやさしい街」
- 「子どもを産み育てる環境が整う教育・文化あふれる街」
- 「地域の特性を活かした産業を生み出す街」
- 「環境に配慮したみどりあふれる街」
- 「立ち止まらない市政改革のもと、市民が参加する市民協働の街」

■ 市民協働の推進

- ★自治会・NPO・大学・民間との連携協力による事業の推進
- ★次期男女共同参画基本計画策定
- ★友好都市提携 35 周年記念事業（土佐市との災害協定締結）

■ 人口減少への対応

- ★保育所定員増員
- ★親子安心育成支援事業（街なかひろば、地域ひろば、情報提供）
- ★総合特区推進
- ★ RTN パーク造成
- ★人への投資
小・中学校全校への電子黒板導入
市内大学生のインターンシップ実施

■ 環境への取組み

- ★公共街路灯・自治会防犯灯の LED 化
- ★江別の顔づくり事業
顔づくり区域内 LED 照明設置
サイクルシェアリングの実施
- ★新栄団地 A 棟屋上太陽光パネル設置

■ 安全・安心なまちづくり

- ★江別の顔づくり事業
- ★江別駅跨線人道橋工事
- ★新栄団地 A 棟建設工事
- ★証明書コンビニ交付事業 (H26.4 開始予定)
- ★第二小耐震改築
- ★江別太小・第一中改築実施設計
- ★江別小・第三小統合基本設計
- ★発達障がい通級指導教室開設

予算規模

一般会計	408 億 5,000 万円	(前年度比 4.1% 増)
特別会計	236 億 1,400 万円	(前年度比 4.1% 増)
企業会計	167 億 6,938 万 5 千円	(前年度比 0.3% 増)
合計	812 億 3,338 万 5 千円	(前年度比 3.3% 増)

*一般会計では、主に医療・介護・福祉関係の経費や子育て支援・教育関係などの人への投資に係る費用増により、前年度に比べ 4.1% の増加となっています。



一般会計

()内は前年度比

国・道支出金

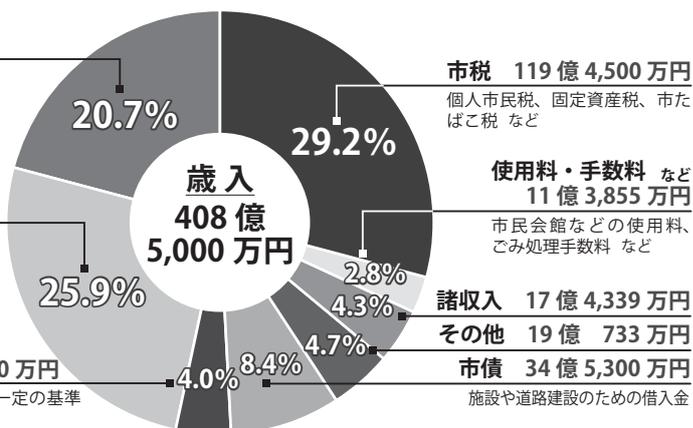
84億4,103万円
特定の事業に対する国・道からの負担金・補助金など

地方交付税

105億7,000万円
一定水準の行政サービスを行うために国から配分される交付金

地方譲与税など

16億5,170万円
国が徴収した特定の税のうち、一定の基準で地方に配分されるものなど



【前年度より増加】

●市税 119億4,500万円 (+2,300万円、+0.2%)
道たばこ税の市への税源移譲により、増加の見込み。
*市たばこ税 8億3,026万円 (+8,696万円、+11.7%)

【前年度より減少】

●地方交付税 105億7,000万円 (△2億3,000万円、△2.1%)
国の地方財政対策の方針により、減少の見込み。

予備費 5,000万円

諸支出金 52億2,719万円

特別会計への繰出金など

公債費 47億9,415万円

市債の償還金と利子など

教育費 29億9,529万円

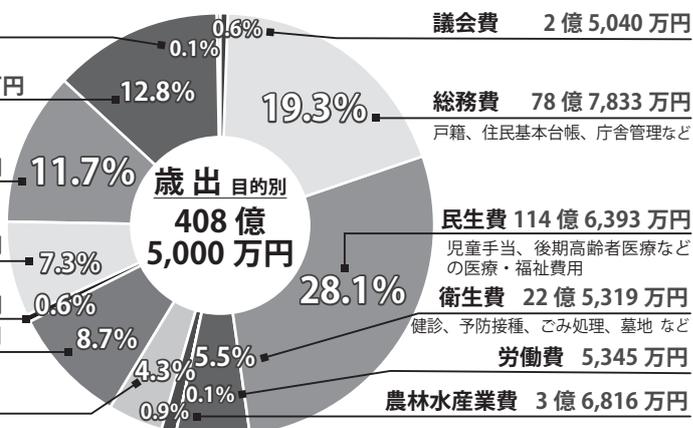
義務教育費、体育館、図書館など

消防費 2億3,570万円

道路、公園、除雪、治水など

土木費 35億4,576万円

商工業、消費者保護、観光など



【前年度より増加】

●民生費 114億6,393万円 (+5億4,437万円、+5.0%)
介護施設建設費の補助や障がい者自立支援給付費などが増え、増加の見込み。
●教育費 29億9,529万円 (+5億8,210万円、+24.1%)
小・中学校の耐震化や電子黒板の全校配置などにより、増加の見込み。

予備費 5,000万円

繰出金 64億2,323万円

特別会計や企業会計に対して繰り出す負担金など

貸付金 11億9,040万円

積立金など 3億73万円

投資的経費

43億5,007万円

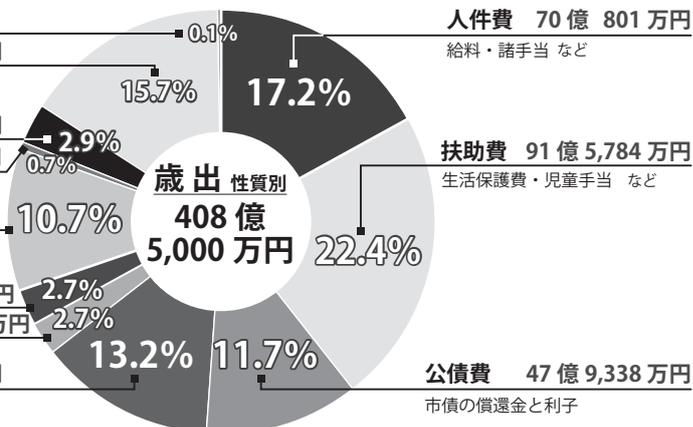
学校施設整備、新米団地建替、RTNパーク造成事業など

補助費など 10億9,729万円

維持補修費 10億9,875万円

物件費 53億8,030万円

各種物品の購入など



【前年度より増加】

●扶助費 91億5,784万円 (+1億1,613万円、+1.3%)
障がい者自立支援給付費などが増え、増加の見込み。
●投資的経費 43億5,007万円 (+8億7,996万円、+25.4%)
小学校改築や介護基盤緊急整備補助などにより、増加の見込み。

特別会計

236億
1,400万円

(前年度比
+9億2,250万円
+4.1%)

- 国民健康保険特別会計 134億3,700万円(+1億6,800万円)
- 後期高齢者医療特別会計 14億4,300万円 (+3,900万円)
- 介護保険特別会計 81億6,700万円(+5億7,900万円)
- 基本財産基金運用特別会計 5億6,700万円(+1億3,650万円)

企業会計

*概要は6・7ページへ

167億
6,938万
5千円

(前年度比
+5,339万7千円
+0.3%)

- 水道事業会計 32億8,773万4千円(△994万5千円)
- 下水道事業会計 48億3,509万4千円(△4億1,727万2千円)
- 病院事業会計 86億4,655万7千円(+4億8,061万4千円)